



令和 6 年度		総 括 評 価 表			徳島県立富岡東中学校	
自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評 価	学校関係者の意見		
〔 2 〕 学 力 向 上 へ の 取 組 の 強 化 と、 中 高 一 貫 教 育 の 円 滑 な 実 施	* 指導内容と指導方法の工夫改善  * 生徒が意欲的に取り組む授業の創造と、生徒の確かな学力の育成  * 中高教員が連携した計画的継続的な	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	○家庭学習を2時間するという目標はよいと思うが、2時間という数値に生徒が縛られているのではないか。どのような内容での2時間が求められているのか、質問内の仕方について工夫が必要ではないか。  ○中学校段階から、授業でわからないところを質問できる生徒を育成することが重要。これまでと違う新たな視点で、中高の連携を進めていくとよいのではないか。  ＜課題＞ ○学習への目的意識を持たせる必要がある。  ○どのような方法・内容での家庭学習が必要なのか、生徒に理解させる必要がある。  ○中高一貫校ならではの、特色ある教育活動についてさらに検討していく必要がある。  ＜方策＞ ○キャリアパスポートを活用し、現時点での人生設計について考えることで、学習の目的意識を持たせるようにする。また、その学習意欲を家庭学習の向上につなげる。  ○勉強の方法について、調べたり、考えたりする機会をつくる、  ○中高の交流について、生徒間だけでなく、生徒と教職員の交流も活性化できる取組を実施する。	
		①相互授業参観を年間1回以上実施する。 ②授業に積極的に取り組む生徒90％以上。 ③平均学習時間1日2時間以上の生徒70％以上。 ④中高の教員が一体となって中高一貫の教育課程について検討する。 ⑤目標を立て、計画的に学習に取り組む生徒80％以上。	①年に2回以上の期間をそれぞれ設けて実施した。 ②<生徒アンケート>88％ （前年度比 3.4 ㊦down） ③<生徒アンケート>41.3％ （前年度比 3.5 ㊦up） ④中高一貫教育推進検討会を開催し、生徒の現状について情報を共有するとともに、中高一貫教育の特色を生かした教育活動について検討した。 ⑤<生徒アンケート>60.5％ （前年度比 0.8 ㊦up）	A C C A C		B
		活動計画	活動計画による実施状況			
		・研究授業・公開授業・外部講師招聘による教員研修等を実施し、指導力の向上を図る。 ・R R Cの実施や具体的な学習目標の設定により、学習意欲の向上を図り、分からないところを質問する態度を育てる。 ・生活実態調査や学習状況実態調査を効果的に実施する。 ・教科学習を中心とした中高6年間のカリキュラム等について、中高合同の検討委員会等を開催して検討する。 ・中高合同の学力向上検討委員会等において、生徒の学力向上を図る授業の展開を検討する。	・研究授業や公開授業を複数回行い、研究討議を行うなど充実した研修会が実施できた。  ・「富東タイム」では漢字学習、英語リスニング学習などを実施し、漢字検定や英語検定に多数合格するなど着実な成果があった。 ・R R Cについては、年に4回実施した。不合格者には再テストを行うなどの支援を行った。 ・生活実態調査や学習状況実態調査を効果的な時期を考慮して実施し、意欲の向上に努めた。 ・企画マルチメディア課を中心に、中高一貫教育推進検討会を開催するなど中高合同で教育課程や学力向上に関する取り組みを検討する体制が充実した。 ・検討委員会を複数回実施するなど、ICT活用を含めた生徒の学力向上を図る授業の展開を検討する体制が向上した。			

令和 6 年度			総 括 評 価 表		徳島県立富岡東中学校		
自 己 評 価				学校関係者評価		次年度への課題と	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評	価	学校関係者の意見	今後の改善方策	
〔 3 〕 特 別 活 動 の 充 実 と「さわ やかで活力 あふれる富 東」の精神の 高揚	* あいさつ、マナー 等の基本的生活習 慣の定着  * 学校行事の活性化 と生徒会活動の充 実。  * 安全教育や防災教 育の徹底と事故防 止への取り組みの 強化  * 生徒一人ひとりの 人権感覚の向上  * 環境美化への努力 と、環境問題解決 の実践力の育成	評価指標	評価指標による達成度		総合評価  <		